

日本ガラス工芸学会

2010年度 年会のご案内

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。

さて、日本ガラス工芸学会では、2011年2月19日（土）に恒例の年会を開催いたします。詳細については以下をご覧ください。皆様ふるってご参加くださいますようお願い申し上げます。

日時：2011年2月19日（土）

開場 13：00

発表時間 13：30～16：30 （質疑応答、休憩含む）

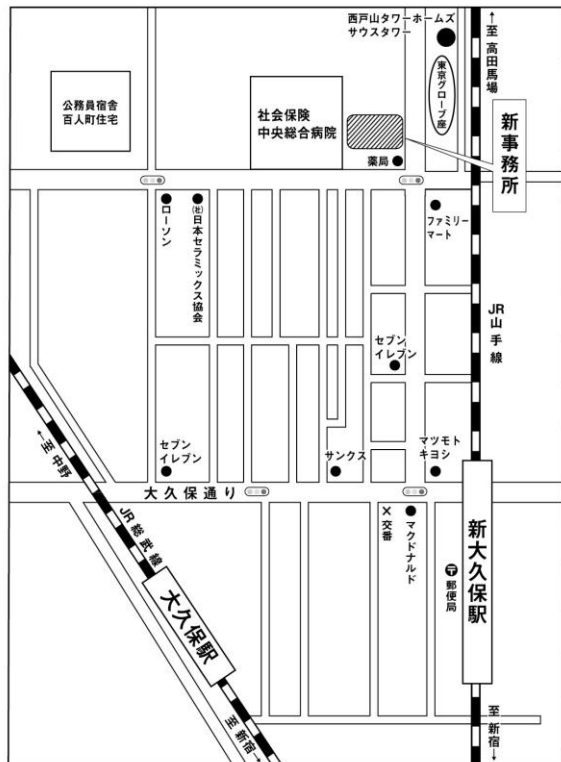
場所：日本硝子製品工業会 会議室

〒169-0073

東京都新宿区百人町 3-21-16

日本ガラス工業センター3F

最寄駅 JR新大久保 徒歩5分



発表者と要旨

白瀧絢子 「古代日本のガラスの化学組成について」13:30~14:45 (含質疑応答)
ガラスは西アジアに起源を持ち、海上交易路により東方へと運ばれ、インド、東南アジアを経て日本へもたらされたと考えられています。しかし、東南アジアと日本をつなぐルートが存在はまだ科学的に実証されていません。今回は、先行研究により東南アジア産の鉛が使用されていると思われる熊本県小田良古墳出土のガラス小玉について、化学組成分析を行いました。さらに、日本の他の弥生・古墳時代の遺跡から出土したガラスと比較し、組成の特性化を行いました。
(東京理科大学修士課程)

(休憩 15 分)

藤田紗代 「场景のかたちーガラスによる光の表現ー」15:00~16:15
博士修了作品「砦」は、板ガラスを素材に使いスランピングやキルンキャストイングの技法で制作しました。今回はこの作品の説明を中心に、いつもどのような意図で作品制作を行っているのかを発表させていただきます。
(東京芸術大学博士後期課程)

参加ご希望の方は座席準備の都合上、あらかじめご一報いただけますとありがたいと存じます。メールでご連絡の場合は研究企画 池田まゆみ (mayumi.i@f5.dion.ne.jp) へご連絡をお願いします。FAXをご利用の方は以下の申し込み票を事務局へお送りください。皆様ふるってご参加ください。

研究企画委員一同

Fax 送信用紙

日本ガラス工芸学会
事務局 気付 (Fax 03-3700-9140)
研究企画部門宛

2011年2月19日の年会に参加いたします。

参加者氏名 _____
参加者連絡先 _____

通信欄：

以上